

CoCoDe からのお知らせ

CoCoDe トークサロン

よもやま話～トルコという国って～

トルコの場所、日本とトルコの関係、トルコ語、日常生活や文化、イスラム教のことなど、興味深いお話をお聞きします。



ゲスト 山田英治さん

トルコに興味を持ち、2000年から約10年間、日本トルコ友好協会の役員として滞在し、日本語を教えるなどの友好活動を行う。現在は北海道日本トルコ友好協会会長。

日時 12月4日(月)
18:00～19:30

場所 CoCoDe 1F 交流展示コーナー
(宮前1条3丁目3-30)

参加費 300円(茶菓子代)

【申込み・問合せ先】
旭川市市民活動交流センター CoCoDe
TEL:74-4151 メール:info@cocode.jp
※要予約。上記連絡先にお名前、電話番号をお知らせください。

インフォメーション

創立60周年記念 書創展 併催 赤石蘭邦展

【会期】12月2日(土)～12月10日(日)
開館時間 9:30～17:00
(展示室入場は16:30まで・12月4日(月)は休館)
【会場】北海道立旭川美術館 第一展示室
【入場料】500円
【お問合せ】書創社事務局 大和鳥啼
TEL:090-2871-1898

旭川市『障害者週間』記念事業 ～地域共生社会の実現に向けて～

【日時】12月3日(日)12:30～
【会場】旭川市障害者福祉センター「おびった」2階体育館
【内容】12:30～オープニング 神楽岡太鼓保存会
13:30～記念講演「成年後見制度を考える」 講師:旭川成年後見支援センター センター長 山本郁美氏
・事業所展示即売会 11月24日(金)～12月9日(土)
・パネル展示(新総合庁舎1階)12月3日(日)～9日(土)
【お問合せ】旭川市障害者福祉センターおびった
TEL:0166-31-2226

旭川市内で開催される
イベント情報等をお知らせします

三国志クイズ大会開催

三国志好き集まれ!
【日時】12月9日(土)13:30開始(所要約2時間)
【場所】旭川市市民活動交流センター CoCoDe
【募集人員】30名(申込多数の場合先着順)
【参加費】無料 【参加資格】中学生以上
【お問合せ・申込み】旭川日中友好協会
TEL:090-2050-5350

演劇集団シベリア基地 #5 そして、またリンドウの花が咲く

一私達を残して、彼女はなくなった
【日時】12月23日(土)14:00(公開リハーサル)
12月23日(土)19:00 / 12月24日(日)14:00
【場所】旭川市市民活動交流センター CoCoDe
【料金】○通常公演 一般:2,000円 U25:1,500円
高校生以下:1,000円
○公開リハーサル 一般:1,000円 高校生以下:無料
【チケット予約】<https://ticket.corich.jp/apply/285809/>
【詳細】シベリア基地 メール:shiberiakichi@gmail.com

こども & ちいき 食堂

ココデでみんなでいっしょに
ごはんをたべませんか?

料金

子ども 無料
大人 100円



30食限定

【対象】子ども及び
その保護者、地域の
方どなたでも

高校生のお兄さん
お姉さんによる、
お勉強サポートも
あるよ!

日にち 12月16日(土)
11:00～13:00

ばしょ COCODE(ココデ)
みやまえ1条3丁目

※要予約です。

12月5日より
受付します

【申込み・お問い合わせ】
TEL:0166-74-4151

※体調不良の場合は
ご連絡ください。

市内の谷口様よりお米を、(一社)北海道水産物
荷主協会様よりホッケをご寄贈頂きました。
誠にありがとうございました!

子育てひろばを
みんなあそびにいで〜!

HAPPY SMILE

親子でハッピー!あそびはココデ!

旭川市市民活動交流センター CoCoDe

10:00
11:15

12/4 18 3/18

ふゆの
ミニうどんうかい
タンポポルカーポルポル
トンネルくぐり cocode
あひやげもあるよ

しんぶんあそび
新聞紙をつかったあそびを
たくさんします
動きやすい服装を飲み物忘れずに

運営・問い合わせ先 旭川NPOサポートセンター 74-5380

ホットなあそび

北海道新聞旭川報道部の川村史子さんにお話しをお聞きしました。

Q. 今の仕事内容を教えてください。

一般的に「デスク」と呼ばれる職種です。記者が書いて送ってきた原稿を新聞に載せる前に、掲載に値する内容なのか、記載内容に間違いがないか、読者にわかりやすく伝わるか、人権などに配慮しているかななどをチェックします。原稿に不備があれば再取材を頼んだり、書き直しを指示したりします。

Q. 特に重点的に取り組んでいることは?

仕事の上では特にありません。旭川報道部は年齢の若い記者が多いので、若い記者たちのものの考え方や生活習慣を知ること、理解することが私的には重要課題です。私が入社したころは原稿は手書きでした。生まれたときから携帯、パソコンがあった世代とは思考や常識が違い過ぎていて、日々戸惑っています。

Q. やってよかったことは?

1994年に、生活部(当時)に異動になり、原子力発電所の廃止にとりくむ活動家のピアニストにお会いして、感化されました。それまで原発について、きちんと考えたことがなかったのですが、調べれば調べるほど、恐怖感に襲われました。原発問題をきっかけに、自然環境や食の安全、遺伝子組み換え技術、平和、雇用、経済格差などを考え、調べる動機を得られました。

Q. 読者に伝えたいメッセージをお願いします。

日本の国土は世界でも希少な美しい景観、豊かで安全な飲み水、穏やかな気候に恵まれたところだと思います。たしかに石油や鉱物は乏しいですが。この美しい自然や景観を後世まで残していくのが、どんなに大切なことか。巨大風力発電を含め自然にダメージを与えるような大規模な開発を極力抑え、自然を大切に保つことを最優先にした暮らし方についてもっと考えてみてはどうでしょうか。

